

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 オフィス	日本語表現学	井上 新甫	1 年次	春

授業のキーワード	日本語の美しさ、書く習慣と自己表現。
授業の概要	授業は「礼で始まり礼で終わる」。学問は身心で会得してこそ役に立つ。礼節を重んずるのはその始め。いまや国語能力の低下が著しい。国語の低下は、日本人としての思考力、判断力、ひいては気概や誇りや勇気の有無に影響する。言葉は人格形成の根本。
期待される学習成果（目標）	言葉は心の声。美しい人格は美しい言葉から生まれる。知識の学問ではなく、すぐに役立つ活きた学問と教養を身につける。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	日本国と日本語①	日本語は美しい。わが国は「言霊（ことだま）の幸（さきわ）う国」である。その床しさを知る。	第 9 講	文章の基本形を学ぶ④	新聞記事を実際書いてみる。添削して返却する。
第 2 講	日本国と日本語②	名文ではなく品格ある文章を目指す。まず手紙の書き方から始める。拝啓とは何か、敬具とは何か。	第 10 講	文章の基本形を学ぶ⑤	新聞記事を実際書いてみる。添削して返却する。
第 3 講	表現学とは実学あるのみ①	手紙を実際書いてみる① 添削して返却する。	第 11 講	感性・情操を養う①	新聞コラムを読み考える。
第 4 講	表現学とは実学あるのみ②	手紙を実際書いてみる② 添削して返却する。	第 12 講	感性・情操を養う②	新聞コラムを読み考え、感想を書く。
第 5 講	表現学とは実学あるのみ③	手紙を実際書いてみる③ 添削して返却する。	第 13 講	感性・情操を養う③	新聞コラムを読み感想を書く。
第 6 講	文章の基本形を学ぶ①	新聞記事は文章の基本。その文章構成を習う。添削して返却する。	第 14 講	日本人と精神文化①	千利休の茶道と造化の心。
第 7 講	文章の基本形を学ぶ②	新聞記事を実際書いてみる。添削して返却する。	第 15 講	日本人と精神文化②	本居宣長の「大和心」と山桜花。全講義のまとめと定期試験の概要も説明する。
第 8 講	文章の基本形を学ぶ③	新聞記事を実際書いてみる。添削して返却する。	定期試験		日本人としての基礎知識。また新聞記事の前文だけを書き、全講義を通じての感想を記述する。感想文には性格
評価方法		定期試験 100%。ただし、授業中の手紙や記事などの出来栄は考慮する。授業中の積極的な発言もプラスして評価、マイナス評価はしない。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
毎回、レジュメを配布する。すべて現実に即した内容だから変化する。既成のマニュアル本は使わない。			できるだけ多くの本を読む。		